

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県 三豊市

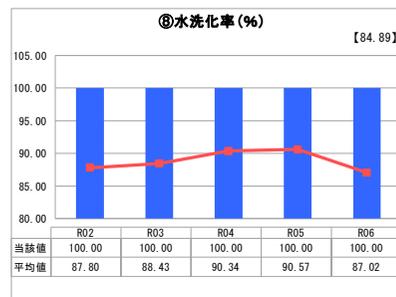
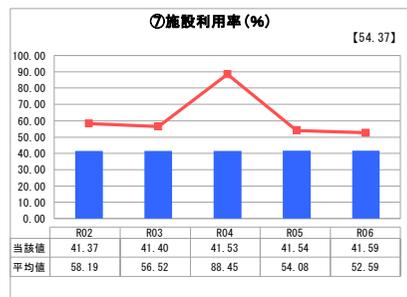
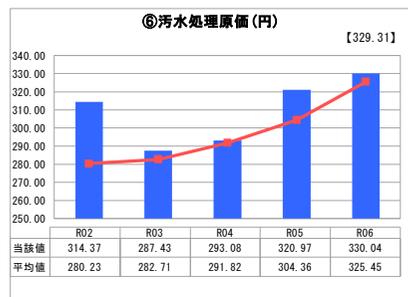
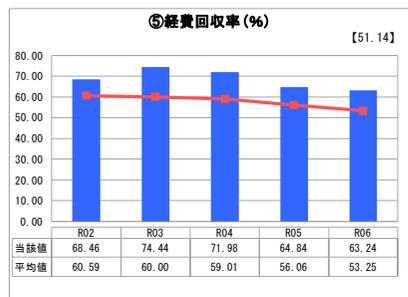
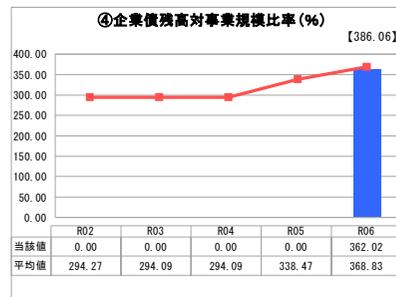
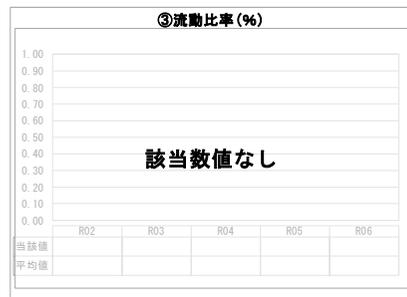
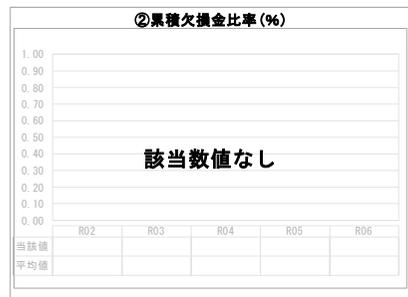
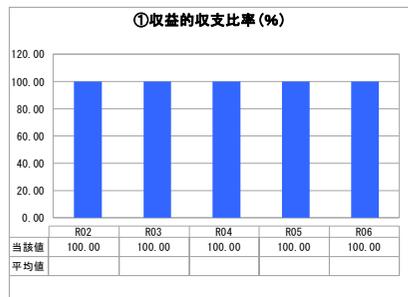
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.31	100.00	4,180

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
60,480	222.69	271.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,794	30.32	224.08

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本事業は平成19年度で設置を終了し、現在は維持管理のみを行っている。経費回収率は63.24%であり、類似団体平均(53.25%)を上回っているものの、前年度(64.84%)からは微減しており、依然として費用の約4割を一般会計からの繰入金等で賄っている状況である。

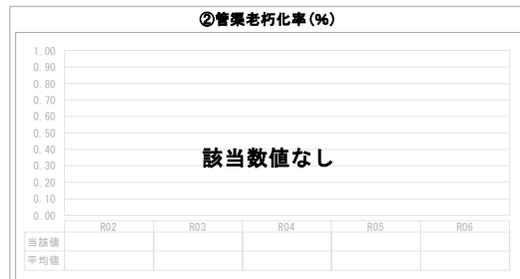
汚水処理原価は330.04円で類似団体平均(325.45円)と同水準である。水洗化率は100.00%を維持しているが、全ての浄化槽が設置後10年以上(古いものは20年以上)経過していることから、経年劣化による修繕料が増加傾向にあり、これが経営を圧迫する要因となりつつある。

なお、「④企業債務高対事業規模比率」は362.02%となっているが、令和6年度決算統計を誤ったためこのようなグラフとなっている。実際は償還金の全額が一般会計負担であるため0である。

### 2. 老朽化の状況について

本事業は個別設置型の合併処理浄化槽であるため管渠の指標はないが、浄化槽本体およびブロウ等の機器類の老朽化が進んでいる。法定検査や保守点検を適正に実施し、故障の早期発見に努めることで修繕費の抑制と長寿命化を図っているが、将来的には更新時期の集中による財政負担が懸念される。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

施設の老朽化に伴い、今後も修繕料等の維持管理コストの増加が見込まれる。経営改善の柱として、市条例に基づく「公営設置浄化槽の無償譲渡」を積極的に推進し、民営化(個人管理)への移行を進めることで、将来の更新費用や修繕費に係る公費負担のリスク低減を図る。

また、経営戦略の策定においては、県や近隣市町との情報共有を通じて、維持管理業務の共同化や汚泥処理の効率化などの可能性も模索し、人口減少下における効率的かつ持続可能な事業運営体制を確立していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。